

## 平成二十三年度入学式式辞

式辞に先立ち、この場をお借りして一言申し上げます。

去る三月十一日に東日本で発生した大地震と大津波により、東北地方を中心に一万人を超える方々がお亡くなりになりました。ここに衷心より哀悼の意を表します。また、家族や住む場所などを失い、寒く不便な避難所で避難生活を送っておられる十万人を超える方々、ふるさとを離れ、住み慣れない土地で新しい生活を始められた多くの方々に対し、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

ここ鳥取の地では、野山に草木が一斉に芽吹き、いつもと同じ春を迎え、こうして入学式を執り行っておりますが、今も困難と向き合っておられる多くの方々のことを、片時も忘れることができません。

さて、改めまして、只今入学を許可いたしました一九三名の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんを、本校教職員一同、心から祝福し、歓迎いたします。皆さんには、今日から新たな決意と希望を胸にしながら高校生活という晴れ晴れとした時を過ごされることとなりますが、同時に多くの方々が困難と向かい合っておられる時でもあるということ、忘れないでいただきたいと思えます。

御来賓の皆さまには公私とも御多用にも拘わりませず御臨席を賜り、新入生の入学を祝福して下さり、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。高談からではございますが、お礼申し上げます。

本校は、昭和十四年に創設され、七十年を超える歴史と伝統を有する工業高校です。

創立以来、ものづくりに携わる人材育成に取り組み、地元のみならず全国の産業界を担う有為な人材を多数育成してまいりました。校訓は「真理を究め、責任を重んじ、自治を愛し、勤労を尊び、剛健の気を養う」であり、本校の教育理念となっています。

本校は、専門教育を充実したものとするため、施設や設備が整備されおり、様々な体験的な学習ができます。また、将来の進路を切り開く資格を取得したり、地域の企業にご支援いただきながら職場体験学習などの取り組みを行っており、将来に向けて職業観や勤労観を深めることができます。さらには、部活動が大変盛んで、どの部にも先輩たちの築いた輝かしい歴史と伝統があります。皆さんには、ぜひどれかの部に入部し、競技力だけでなく、精神力や協調性などを高めてほしいと思えます。上級生は皆さんの入部を心待ちにしています。また、皆さんの学習指導や生活指導には本校の全教職員が力を合わせて当たる所存ですので、どうぞ、よろしく願います。

さて、これからはじまる高校生活に際し、新入生の皆さんと一緒に考えてみたいことがあります。それは、人はなぜ学ばなければならないのかという問題です。

人の歴史は、学びとともにあるといっても過言ではありません。

文字を学ばなければ、読み書きができません。加減乗除を学ばなければ、計算ができません。人間生活を不自由なく営むためには、生活に必要な最低限の知識と技術を身に付ける必要があります。我が国では、そのような基礎的な知識や技術を身に付け、同年代との集団生活をおくることができるようにするために、小中学校で義務教育が行われています。

ところで、高校は義務教育の学校ではありません。その高校に97%を超える中学生が進学しています。皆さんが本校に入学された目的は何だったのでしょうか。みんなが行くか

ら自分も行くといった消極的な理由では困ります。

高校は、皆さんが自分の将来像をもとに自分の意思で学校を選び、入学試験を受験し、合格して入学するものです。また、普通高校と専門高校では学ぶ教科・科目が異なり、これまでより内容が高度になります。そして、小中学校と違い、条件を満たさなければ進級も卒業もできません。

そのような高校ですが、高校生の中には大学に進学するための手段としてとらえたり、卒業して就職するための単なる通過点として考え、学ぶ意味を考えず、青春という名の自由を謳歌しようとする人が少なくありません。かつて高校生であった私も、少なからずそのような考えを持っていました。

しかし、高校は単なる人生の通過点でも、上の学校に進むためのパスポートを得る場でも、ましてや自由を謳歌する場でもないと確信するようになりました。

人間はその生涯を通じて学び、学び続け、成長してこそ、人間と呼べるのです。

また、先人からの文化を引き継ぎ、より良い形にして次の世代に伝えなければなりません。

やがて皆さんが大人として自立するとき、自分の意思で行動し、責任を負わなければならない時がきます。高校は、その時、出会う問題を解決し、自分の未来を切り開いていくための思考力や判断力を養う場なのです。また、感動したり感謝したりするなどの情操を養い、また、周りの人を尊重し、支え合って生活していく態度を養う場なのです。

高校で身に付けなければならないそれらを簡単な言葉に置き換えると、一つは『学力』、もう一つは『人間性』と言えます。

本校では、授業や実習などの体験学習を通して、皆さんの『学力』と『人間性』を高めていきます。その際、皆さんには、なぜ学ぶのかをしっかりと理解するとともに、一人一人が将来を見据えた目標を持ち、学習に、生徒会活動や部活動、ボランティア活動などに真摯な態度で取り組み、自らを高めるとともに、周りの人を受け入れ、共に生きていく態度を身に付けてほしいと思います。

保護者の皆様には、本日はお子様の御入学、おめでとうございます。これまでさまざまな御心配や御苦勞もあったかと思えます。

私ども教職員は、一人一人のお子様ที่充実した高校生活を過ごされ、確かな知識や技術を身につけられるとともに、豊かな人間性を持った心身ともにたくましい若者に成長されるよう願っております。そのことを実現させるために、学校を挙げて努力してまいります。一方で、保護者の皆様の御理解と御協力が欠かせません。お子様が自立され、その将来が豊かで幸せなものとするために、家庭と学校の双方がその役割をきちんと認識しながら、互いの考えを理解し、連携して歩んでいきたいと思っておりますので、御協力を重ねてお願いいたします。

終わりに、すべての新入生の皆さんの本校における高校生活が実り多いものになることを祈り、私の式辞といたします。

平成二十三年四月七日

鳥取県立鳥取工業高等学校  
校長 山内有明